

今月の写真／JGSニュースレター2016年10号7（11月7日発行）

「コハク中の蟻」



撮影・文： 高橋 泰（倍率×25で撮影）

コハクは樹液の化石であるため、樹液に集まる生物が捕らわれ閉じ込められていることがある。時に爬虫類などもいるようだが、一番多いのは昆虫である。以前上映された映画ジュラシックパークの影響で“虫入りコハク”は急に人気が出た宝石素材である。昔からコレクターには知られてはいたが、大量の昆虫が入っているものは美観を損ねるし、ゴキブリ入りでは身につけたくなる女性は少ないであろう。

写真は蟻が一匹だけで閉じ込められているものだ。店頭に並んでいたコハクの中に偶然見つけて購入した。人為的に虫を入れて模造品を作っていることもあるようだが、よく見ると死体を入れている場合が多い。コハクにと閉じ込められた多くの昆虫は生きのまま捕らわれるので、この辺が天然と模造を見分けるポイントになりそうだ。ちなみに恐竜の血を吸った蚊も樹液には集まらないので、映画のストーリーはやはりフィクションである。